

倶多楽の火山活動解説資料（平成25年8月）

札幌管区气象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
平成19年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気などの表面現象の状況（図1-①、図2～7）

日和山山頂爆裂火口の噴気の高さは火口縁上概ね30m以下で、噴気活動は低調に経過しました。

29日に現地調査及び上空からの観測（北海道の協力による）を実施しました。日和山山頂爆裂火口、大湯沼爆裂火口及び地獄谷爆裂火口の噴気や火口の状況に特段の変化はありませんでした。大正地獄は、2011年以降満水の状態が続いており、熱水が少量流出しているのを確認しました。湯面の中央付近には熱水の湧出による気泡が認められました。

・ 地震及び微動の発生状況（図1-②）

火山性地震及び火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動の状況（図1-③）

GPS連続観測では、火山活動によると考えられる地殻変動は認められませんでした。

この火山活動解説資料は札幌管区气象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院及び北海道大学のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平23情使、第467号）。

次回の火山活動解説資料（平成25年9月分）は平成25年10月9日に発表する予定です。

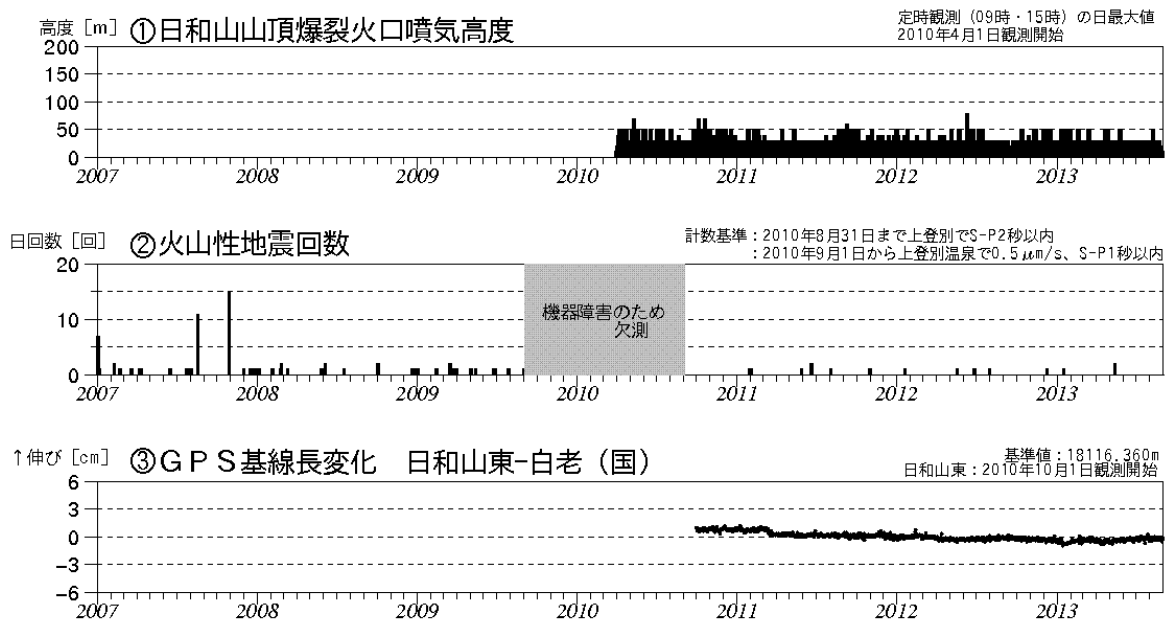


図 1 倶多楽 火山活動経過図 (2007年 1 月～2013年 8 月)、GPS連続観測点配置図

- ・③のGPS基線は右図に対応しています
- ・(国)：国土地理院

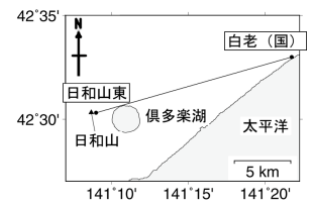


図 2 倶多楽 南南西側から見た日火山、大湯沼及び地獄谷周辺の状況 (8月27日、414m山遠望カメラによる)



図 3 倶多楽 周辺図と写真の撮影方向（矢印）



図 4 倶多楽 日和山の状況 南東側上空（図 3-①の矢印方向）から撮影



図 5 倶多楽 大湯沼の状況 北西側上空（図 3-②の矢印方向）から撮影



図 6 倶多楽 地獄谷の状況 南西側上空（図 3-③の矢印方向）から撮影



図 7 倶多楽 大正地獄の状況 北側（図 3-④の矢印方向）から撮影

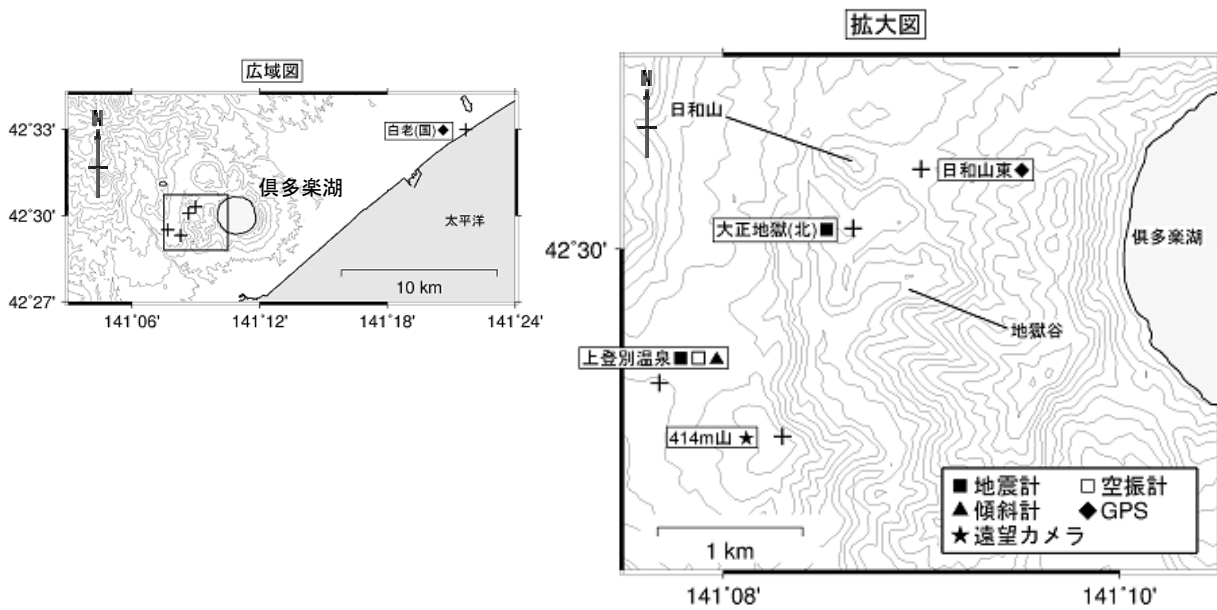


図 8 倶多楽 観測点配置図

広域図内の口は拡大図の範囲を示します

＋印は観測点の位置を示します。

気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています。

(国)：国土地理院

(北)：北海道大学